

## 球根情勢報告

2018年産オランダ産／フランス産在庫表送付にあたり

平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

18年産百合球根は本年の栽培期間中の気象要因により、掘り取り/選別/出荷作業が遅れています。この為、例年より掘り取り結果に伴う受注調整作業が、例年との比較で1週間くらい遅くなっているように感じています。(船積みも遅れています。休眠を打破するための低温積算不足の問題を勘案すれば、「作業を意識的に遅らせる事」は重要かつ適切な判断なのではないかと感じています。)

AH/LAにつきましては、主要花色である黄色/オレンジ、その中でも主力品種群の掘り取り結果に伴う受注変更作業を行って参りましたが、主たる調整作業は山場を越えたと思います。今後、赤・ピンク・白の調整作業が入り始めます。準備の程よろしくお願い致します  
3花色とも少なからず欠品が予測されます。作型毎に合わせた代替品種の検討を進めています。

日本国内のAH/LA系球根輸入計画量は大きく減少が予測されておりますが、国際市場においては球根販売が順調なようです。結果的に輸出業者の在庫量は少なく、特定な作型に向けた、特定な切花産地毎の代替確保対応が難しくなっております。  
(新在庫表をご参照ください)

オリエンタル/OTについても、2N球を中心に掘り取り球根農家から輸出業者へのお荷作業が開始されております。まだ作況の全容はつかめていません。

※フランス産ソルボンヌ、シベリアが大量に欠品する可能性が高まっております。欠品率も高そうです。(25%~55%の間くらい?) フザリウムを中心とした球根腐敗事故及びバイラスロット混入懸念が原因と言われております。  
5~9月上旬期定植作型用の球根が欠品するという意味です。

代替用夏作用品種(フランス産/オランダ産)にしっかり注目してください。よろしくお願い致します。

各々の品種毎に目指すべき切花販売先(消費先)が違ふ事は承知していますが、パシフィックオーシャン:フランス産が売り切れていました。

夏用品種・・・25~55%とはシベリアフランス産だけでも30~65万球近く欠品するという意味なのです。シベリアオランダ産についても、中国市場の引き合いが強すぎる。数百万~一千万球以上の不足感があるそうです。

フランス産の掘り取り結果が出る前に、オランダ産の掘り取り結果が決まってしまう・・・。(オランダ産在庫数が先んじて確定する)。その後のフランス産欠品対応は輸出業者がオランダ産在庫を例年通りに作らないはずなだけに難しくなりそうです。(OH/OT国際市場が不透明な為に)

ソルボンヌフランス産の欠品代替は・・・。ソルボンヌオランダ産の力がフランス産並みにあることを願います。(低温積算問題は解消されている作型?今年のオランダはフランス並みに暑かったから?)

不明な点等ございましたら遠慮なくお問い合わせください。

以上  
森山 隆